

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	文化課長 島田 義正	
共生-25	鎌倉芸術館大規模修繕等事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化		施策の方針
		2-(2)-①文化活動の支援・促進		

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を発揮できるよう、施設・設備の大規模修繕実施により予防保全を図るため。
効果	予防保全により施設・設備の良好な維持を図る。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

- ・南側外壁修繕を実施した。
- ・館内設備自動制御機器修繕を実施した。
- ・消防設備修繕を実施した。
- ・前庭タイル修繕を実施した。
- ・外壁赤外線点検業務を実施した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	鎌倉芸術館大規模修繕事業	修繕料	-	- / -	-	-	-
02	鎌倉芸術館大規模修繕事業	委託料	-	- / -	-	-	-
				60,811 / 63,490	63,490	57,000	
				1,639 / 1,870	1,870	0	
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	42,200 / 42,600	42,600	42,700	
			その他特定財源	/			
			一般財源	20,250 / 22,760	22,760	14,300	
			事業費の合計(千円)	62,450 / 65,360	65,360	57,000	
		人件費(千円)			3,038	3,117	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	0.4	0.4	0.4	0.4	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉芸術館大規模修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
02	鎌倉芸術館大規模修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
---------	-----------------------------	--------------------------------	--	-----------------------------	--------------------------------

令和5年度以降は、重点事業の計画に沿った対応を基本とするものの、芸術館は令和5年(2023年)で開館30年を迎え、建物、設備の老朽化が進んでいることから、今後も継続して、安定的に鎌倉市の芸術文化の拠点としての機能を発揮できるよう、施設・設備の状況を把握し、予防保全等を図る。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	施設各々の劣化状況を鑑み、施設の安全性及び施設利用者の利便性を担保する義務的な事業であるため、他市との比較による評価は馴染まないと考える。
----------------------	---